

1. 低炭素社会の基本的理念

1. 低炭素社会の基本的理念

「世界全体の排出量を現状に比して2050年までに半減する」という低炭素社会の実現に向けては、世界が一丸となって最大限の努力を行う必要がある。例えば、半減した時点で、仮に一人当たりの排出量が世界全体で同じになるとすると、先進国では一人当たり排出量を現在から7-8割程度削減し、途上国では経済発展、生活の質の向上を達成しながらも、現状程度の一人当たり排出量に留めることが必要。このような社会は、現在のトレンドの延長線上には存在しないと考えられ、以下のような基本的理念のもとに、あらゆる主体が取組を進めていくことが必要。

(1) カーボン・ミニマムの実現

低炭素社会とは、究極的には、温室効果ガスの排出を自然が吸収できる量以内にとどめる(カーボン・ニュートラル)社会を目指すものである。そのためには、産業、行政、国民など社会のあらゆるセクターが、地球の有限性を認識し、その選択や意志決定の際に、省エネルギー・低炭素エネルギーの推進や、3Rの推進による資源生産性の向上等により、二酸化炭素の排出を最小化(「カーボン・ミニマム」)するための配慮を徹底することを当然とする社会システムが必要。

(2) 豊かさを実感できる簡素な暮らしへの志向

人々は先進国を中心に形成された大量消費に生活の豊かさを求める画一的な社会から脱却し、家族やコミュニティとの絆、健康、自然との触れ合い、もったいないの心などに価値を置くことにより生活の質を高めることを志向する。このような消費者の選択が社会システムの変革をもたらし、低炭素で豊かな社会を実現する。

(3) 自然との共生

人間とその社会は地球生態系の一部であるとの認識の下、低炭素社会に不可欠なCO₂の吸収を確保し、今後避けられない温暖化への適応を図るためにも、森林や海洋をはじめとする豊かで多様な自然環境を保全し、再生することが重要。このため、地域社会において、バイオマス利用を含めた「自然調和型技術」の推進を図るなど、自然と調和・共生した社会づくりを進めることが必要。

低炭素社会の基本的理念

カーボン
ミニマム

・社会のあらゆるセクターで
温室効果ガス排出の最小化

豊かさを実感できる
簡素な暮らし

・大量消費から生活の質へ消費者の
選択による社会変革
・もったいないの心

自然との
共生

・CO₂吸収等温暖化対策に不
可欠な森林等の維持・再生

2. 低炭素社会の具体的なイメージ

2. 低炭素社会の具体的なイメージ（1）

— まち —

大都市・中都市

- 人・資本の集積度が極めて高く、高付加価値なサービス業を実現。
- 道路は自転車・パーソナル移動体が安全に走行できるようにデザイン。
- 都市規模や既設インフラに応じ、鉄道・バス・LRTを組み合わせた公共交通網が整備。
- 集合住宅比率が極めて高く、職場と住居は近接。
- 中心部は熱輸送管が整備され排熱を有効に活用。
- 「風の道」やオープンスペース、水辺が確保され、ヒートアイランドが緩和。
- 屋外照明・広告の減少等により星空の観察が可能。
- 集中豪雨に伴い都市型浸水が起こることがないような水循環インフラが整備。

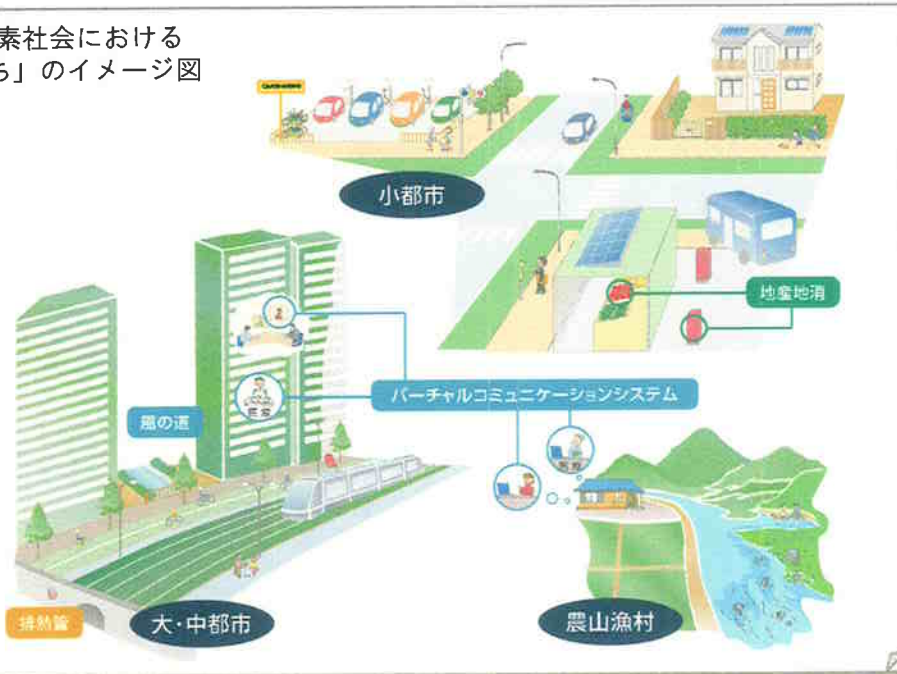
小都市

- 鉄道駅等が拠点となり、周辺に商業施設、居住地域がコンパクトに集積。
- ICTの進展により利便性が大幅に向上したバスが公共交通機関として中心的役割を果たす。需要に応じて様々なサイズのバス運行。
- 都市部周辺には農地があり、地産地消が行いやすい環境にある。
- 従来は鉄骨建築であった中層の建築物についても木造の比率が高い。
- 自然本来の姿を活かした工法により治水が行われ、災害に強いまちになっている。

農山漁村

- 農林水業経営規模の拡大、効率的な生産により、第一次産業は活性化。
- 移動については自動車の比重が高いが、自動車はモーター駆動もしくはバイオ燃料で走行。
- 住居・建築物のほとんどは木造。
- 地域で発生する廃棄物系バイオマス、稲わらや間伐材等の未利用バイオマス、資源作物などがエネルギーや製品の供給源。
- 地域関係者連携の下、地域に賦存するバイオマスを総合的に活用する取組が全国に広がっている。
- 通信システムの高度化により、自然豊かな地域に居住しながらの就業が可能。また、医療サービスや教育の十分な享受も可能。
- 森林整備に伴い保水力が強化され、集中豪雨に強い農山村が形成。

低炭素社会における「まち」のイメージ図



まちの規模と低炭素社会の構成要素

	大都市・中都市	小都市	農山漁村
交通	徒歩・自転車		
	パーソナル移動体		
	鉄道・LRT		
	バス		
住宅・建築物*	自動車(モーター駆動・バイオ燃料)		
	高層住宅・建築物		
	中層住宅・建築物(鉄)		
	低層住宅・建築物(木)		
エネルギー	太陽光・熱		
	熱融通		風力
	バイオエネルギー供給源		

* 低層は2～3階、中層は4～7階、高層はそれ以上と大まかに分類